

# 令和3年度 第1回 学校運営協議会報告

【日時】 令和3年7月16日（金）14時00分～16時00分 セミナーハウス3階北研修室

## 【出席者】

学校協議会委員：真野 正道（元府立学校校長）、  
林 浩子（寝屋川市立第一中学校長）（欠席）  
巽 順子（地域住民）、松下 孝雄（学校関係者 北水会）、  
高崎 美和（卒業生保護者、地域住民）、  
松本 一恵（保護者 定時制 PTA 委員長）

准校長：小早川 真一

事務局：伊藤 牧子（教頭）、住友 敏弘（事務部長）、沼田 慎也（首席）、  
伊達 康人（教務主任）、河本 拓也（生徒指導主事）、  
田代 興太郎（進路指導主事）

- 1 開会
- 2 准校長あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 会長・副会長の選出  
会長：真野 正道 副会長：林 浩子
- 5 会長あいさつ
- 6 協議

## （1）令和3年度 学校経営計画について

【准校長より資料について説明と首席・各分掌長からの詳細説明（資料参照）】

### ①基礎学力の定着

- ・ICTや視覚教材を取り入れて、生徒の興味・関心を高める授業を推進する。
- ・学習の基礎となる認知力に着眼し、認知力向上トレーニングであるコグトレを本格的に活用する。
- ・授業を大切にするという観点で、中抜け・早退について指導を強化する。

### 提言・意見

- 認知力向上に向けた取り組みについて、測定の結果を自分で把握し、自分の強み、弱みを知る等、生徒に還元できるような仕組みを考えてもらいたい。
- 新型コロナで長期休校などになった場合に向けて、オンライン授業の整備を整えていただきたい。

### ②自尊感情の育成

- ・あいさつができる生徒が増えてきているので、自らあいさつができるように集会やHRで促す。
- ・教育相談委員会を生徒支援委員会へと組織改編を行い、より組織的な支援を行う。
- ・生徒指導部と学年の連携を密にし、中抜け・早退について粘り強い指導を行う。

### 提言・意見

- 生徒を支援するための外部人材（SSW、SC、夜間介助員、学習支援員等）は、本校において必須であり、十分な活用回数の配置を強く要望する。

### ③夢や志を抱く喜びを伝える

- ・前年度はコロナで心配したが、何とか例年並みの進路決定になった。
- ・次年度から高卒求人複数応募が始まるので、準備を整える。

### 提言・意見

- コロナ禍での進路指導は大変だと思うが、生徒の将来を広げてあげてほしい。

#### ④校内組織の活性化と人材育成

- ・プロジェクトチームを立ち上げて、学校案内パンフレットの作成や学校説明リーフレットの見直しを行った。
- ・ネヤトレ（コグトレ）を本格的に活用（1日に1回は受ける）し、生徒の認知力を向上させる。
- ・全日制と連携し、授業見学を相互に行い、授業力の向上を図る。

#### 提言・意見

○各中学校、3年生の先生方に、学校案内パンフレットがいきわたるようにしてもらいたい。

#### (2) 各学年の様子

**4年**・進路決定に向けみんな頑張っている。

- ・授業を落ち着いて受けられない一部の生徒もいるが、担任を中心に保護者と連携して指導を行っている。

**3年**・4月当初は新しいクラスに緊張している様子だったが、徐々に級友とも打ち解けている。3年制の生徒は、卒業後の進路の決定に向けて前向きに取り組んでいる。修学旅行や文化祭に向けて学年・クラスとしてのまとまりがでてきている。

**2年**・バイトや仕事と両立させて学校生活を送っている生徒が多い。

- ・日々の授業に落ち着いて取り組み、行事にも積極的に参加しようとする姿勢が見られた。
- ・全体的に少し欠席が増えてきているが、HRや進級指導を通じて欠席は減少しつつある。

**1年**・入学して3カ月が過ぎ、徐々に学校に慣れ、出席も安定してきた。定期考査や体育祭を終えて、人間関係も形成されつつある。一方で個々の課題がはっきりしだしてきた時期でもあり、担任の先生を中心に、SC、SSW、生徒支援委員会や外部機関と連携し、課題の解決に取り組んでいる。

#### 7 その他

令和4年度使用教科書選定・採択について（資料あり）教頭より説明

今後の予定：第2回11月      第3回2月に予定